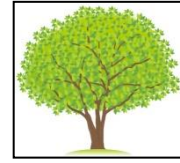


川遊び

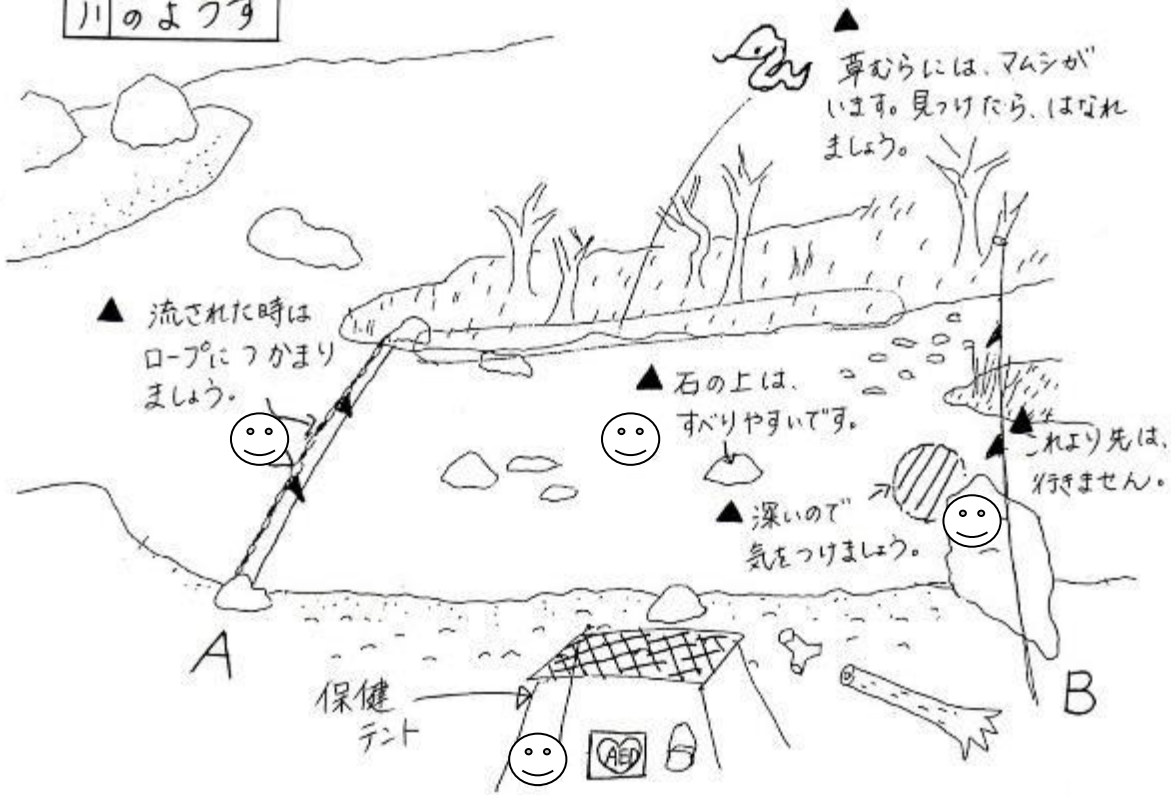


活動場所	自然の家横の安曇川	自然の家にあるもの	テント、AED、無線機、ヘルメット、ライフジャケット、あみ
所要時間	2時間くらいが適当	利用者で用意するもの	着替え、バスタオル、ゴーグル、タオル（ヘルメットの下につける場合があります）、救急用具
人数	100名程度	活動時の服装	水着、長袖、長ズボン、帽子、軍手、濡れてもよい靴またはウォーターシューズ、靴下

自然の川を使ってダイナミックに川遊びができます。水も冷たく、勢いもあり楽しい川遊びができます。ライフジャケットを着るため、安全に活動することができます。少し深い所で浮かんでみたり、ゴーグルを使って川の中をのぞいたり、安曇川のきれいな川で五感を使って楽しむことができます。

川遊び

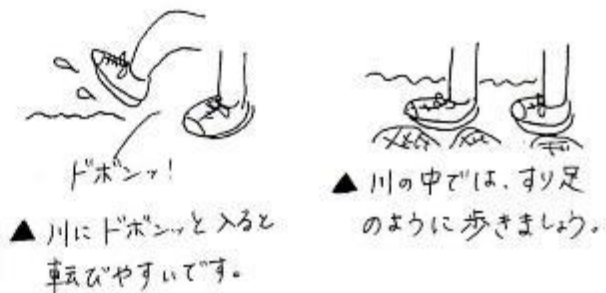
川のようす



服そう



入水のポイント



とくに大切なこと

- ①川はプールとちがって流れが変わったり、深い所があったりします。先生に言われたことはしっかりと守りましょう。
- ②さむくなったり、調子が悪くなったりしたら、すぐに川からあがりましょう。
- ③川の中をゴーグルで覗いてみると、とても楽しい世界が見えますよ。
- ④流されたときはAのロープをつかむようにしましょう。

1. 学習内容

めざすもの（評価）	関連教科	学び（単元）
・安曇川に流れる水の速さや量に着目し、流れる水の働きと土地の変化について着目し、科学的思考をもつことができる。	理科	5年「流れる水のはたらき」
・安曇川の水に触れ、川遊びをすることで、きれいな水質を保つにはどのような取り組みができるかを考え、実践することができる。	社会	4年「住みよいくらしをつくる」
・自分の住んでいる町の川と葛川にある安曇川を比較し、それぞれどのような特徴があるか調べ、学んだことを発信することができる。	総合的な学習	「環境」
・我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、国や国土を愛する心を持つ。	道徳	「伝統と文化の尊厳、国や郷土を愛する態度」

2. ポイント

ア) 活動前

- ・当日は天気、気温、水のにごり、水量、勢い、水温によって実施可能か判断する。
- ・川原にテントを設置する。救護用や休憩用に使用可能。
- ・指導者の立ち位置をしっかりと決めておく。また、川の中に入る担当もあるので服装等用意しておくこと。
- ・濡れてもよい靴かウォーターシューズを用意すること。つま先やかかとの出るサンダルやクロックスは禁止。
- ・AEDは自然の家に持出し用が1台と常設が1台ある。救急用具は各団体に用意すること。
- ・メガネが流されないように対策させる。
- ・子どもの着替えを浴室に準備させておく。
- ・ライフジャケット等の装備は着用後にしっかりと着られているか確認すること。同時に服装の点検も行う。

イ) 活動中

- ・子どもの様子をしっかりと把握する。また適時、人数確認すること。
- ・子どもの様子を見て、適時、川からでて、水分補給や休憩をするよう指導する。
- ・活動の際は自然の家にある無線機を所持する。使用方法については当日所員が説明する。
- ・活動中は前項にあるAからBの範囲内で活動する。
- ・草むらにはマムシがいる可能性がある。見つけた場合は近づかないよう指導する。
- ・入水の仕方や危険な行為の注意喚起をすること。

ウ) 活動後

- ・濡れた服や靴は、所内の乾燥室で乾かすこと可能。
- ・入浴を早めにされる場合は、事前に申し出ること。
- ・ライフジャケットはチャックとバックル(腰の留め具)を閉めてから、返却して干すように指示する。

3. 安全対策について

--